

入居企業紹介 その193

SICに入居されている企業様をご紹介します。

本質を捉えた情報を伝達する
「産業総合紙」として

【入居者プロフィール】

株式会社 日刊工業新聞社 相模支局
支局長 八矢 卓之(はちや たくゆき)

八矢さんは1979年生まれ、三鷹市出身、調布市在住。

中学ではサッカー部に所属していましたが、高校からギターを始め、大学ではイベント参加を目標にバンドを結成しました。

大学は文学部史学科に進学。歴史には大河ドラマや時代劇に興味をもち、幅広く歴史を知るため、専攻は中世・近代の西洋史全般だそうです。歴史には正解がなく時代によって解釈が変わること、同時代の世界を俯瞰的に知ることに楽しさを見出しています。

【メディア業界での活動】

歴史を知ること人は知ることと考え、特に経済を支える中小企業の方々と接したいとの想いから金融業界に身を置き、その後日刊工業新聞社へ広告の営業として入社しました。メディアマンとして入社してからは広告業務のみならず、発信者が求めている効果や届けたい情報を受け手へ正確に伝わるように、意図を想定することを心掛けとしました。その後官公庁のシンポジウムやセミナー、企業見学会、調査報告といった事業の部署に約10年携わりました。官公庁の支援は、中小企業が本当に困っていることを把握するため、全国各地の中小企業との接点が多い日刊工業新聞社と一緒に取り組んでいるそうです。

事例として取り扱う企業の多くは、地域の輪といったリアルなネットワークと、WEBなどデジタルネットワークを上手に使うと感じたそうです。そして2022年4月より神奈川県央地域を担当する相模支局長となりました。

【日刊工業新聞社について】


日刊工業新聞社はその名の通り、モノづくりに関する情報をメインとした日刊紙を発行しています。全国各地に支社・支局を置き、総勢約500名で最新かつ本質を捉えた情報を企業や行政に届け続けています。日本のモノづくりとそれを実現する中小企業の技術を基盤として産業界が発展する、そこに貢献するためには情報元と受信者の双方にとって価値のある情報を発信することが日刊工業新聞社の使命です。その他、展示会の企画・運営(国際ロボット展は日刊工業新聞社主催での展示会)や各方面の展示会主催者への協力、専門的な技術動向や経営実務に関する雑誌や書籍の出版、セミナーの企画運営、教材制作など、幅広い事業を行っています。



メディア業界の中でも日刊工業新聞社は“産業総合情報機関”としての役割を果たします。各事業を「面」で推進し、その先にある企業や行政、地域が“リアルなつながり”へと展開させるため、コミュニケーションの変化、多様化とともに日刊工業新聞社も変革を続けています。

【相模支局長着任にあたって】

入居企業の皆様や地域企業、各方面の方々と直に接し、現場を肌で感じる事が大切だと思っています。規模の大小や社歴の長さの違いなどで企業を一括りにはできません。それぞれに強み・弱みを抱えながら努力が続けられている経営者や現場の方々のお役に立ち、喜んでいただけるよう、地域にある様々な情報をタイムリーにキャッチして、その中の本質的な価値を広く伝達する活動に邁進していきます。

株式会社 日刊工業新聞社 相模支局  日刊工業新聞社
SIC-1 Startup Lab. 1313号室
URL <https://www.nikkan.co.jp/>
問い合わせ先 takuyuki.hachiya@nikkan.press

入居企業トピックス

4月の新聞掲載記事紹介(4月25日時点)

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。
ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
また紙面に掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

- 3月15日 株式会社クワシヤ メカトロニクス2022年4月号
—自立移動型ロボットのノウハウを活かしたロボットビジネスを展開—
- 4月12日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
—共同研究開発契約、トラブル事例と裁判例—
- 4月19日 大豊産業株式会社 日刊工業新聞
—Sler最前線 地下道点検研究開発とロボ開発—
- 4月22日 エックスレイ・システムズ株式会社 神奈川新聞
—ビジネスウェブ課題に応じた機器選定で産業用X線検査の現場を支える—

The HINT55 SICミニセミナー

相模原市支援制度説明会

(補助金・トライアル発注認定制度・ものづくり企業支援サイト)

令和4年度相模原市が実施する中小企業向け支援についての説明会を実施します。関心のあるテーマのみの参加も可能です！

※事前に募集要項等のダウンロードをお願いします。

スケジュール

第1部 15:00-15:30	「中小企業研究開発補助金」 新技術・新製品開発等の研究開発を行っている 市内中小企業者向け
第2部 15:30-16:00	「オンライン営業ツール等作成支援補助金」 オンラインや非対面での営業に対応する 費用の一部補助 「事業継続応援補助金」 コロナウイルス感染・まん延防止と事業両立のための 工事や物品購入費用の一部補助
第3部 16:00-16:30	「トライアル発注認定制度」 市内中小企業が手掛けた製品の販路開拓支援 「ものづくり企業支援サイト」 製造業向けポータルサイトの登録メリットや 登録方法について

【日時】 令和4年5月11日(水) 15:00~16:30(3部制)

【講師】 相模原市 産業支援課、産業・雇用対策課

【会場】 オンライン開催(Zoom)

【参加費】 無料

【担当】 樽川(内線:2023)

[お申込みはこちら](#)



SIC空室情報 (令和4年5月1日現在)

※お気軽に大谷・稲垣までお問合せください

	部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1	○セミラボA(47.3㎡)	1 ※	154,660円
Startup Lab.	○スモールオフィスA(23.6㎡)	1	86,570円

※ 令和4年6月より入居可能
最新の情報はHPをご確認ください。

SICからのお知らせ

COOLBIZの実施について

SICでは5月1日から10月31日までCOOL BIZを実施します。
皆様のご理解とご協力をお願いします。

5月1日(日)~10月31日(月)

令和4年度事業サポート担当のお知らせについて

入居企業各社に担当のインキュベーション・マネージャーのご案内を差し上げました。特に入居や企業活動に関して、お困りごとはぜひご相談ください。

SIC
経営塾

「ニュービジネスリーダー」
育成セミナー

2022年度
塾生募集!!

【開催期間】 令和4年7月~令和5年2月 全10回

【会 場】 SIC-2会議室A、サン・エールさがみはら他

【対 象】 中小企業経営者および
経営者に準ずる経営幹部

【受講料】 220,000円(税込)

【担 当】 中村 浩(内線:1001)

[お申込みはこちら](#)



子どもアントレ協賛のお願い

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(通称:子どもアントレ)は、小学生が初めて会う仲間とともに会社設立から決算まで、会社経営を疑似体験するプログラムです。コロナ禍により中止していましたが、今年から感染症対策を講じ新しい形で実施します。

入居企業の皆様につきましては、本事業の趣旨に是非ご賛同いただきたいと思います。未来を担う人材の育成にご理解・ご協力をよろしく願います。(担当:上野)

[概要はこちら](#)



SIC-3花壇をリニューアル

SIC-3の花壇を近隣の障害福祉サービス事業所「七宝」の利用者の方にご協力いただき、一緒に育てることになりました。ぜひ足を止めてご覧ください。



編集後記

八矢さんは歴史を、地域の時系列でなく時代ごとに俯瞰するのが楽しいそうです。黒曜石は紀元前1世紀ポンペイでは飾り付き杯として使われ、日本では矢尻として使われていました。情報がなければ技術は発達しませんが、情報過多ではストレスや行動力に影響があらわれるそう。そのため情報には質の良さが求められます。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp